校友時報

第52号
発行所 秋田県立能代高等学校新聞部
電話 254番
編集人 佐藤 満
印刷所 大盛堂印刷所

大歓迎!!
キムラヤ
能代市畠町

PTA号

秋大68名で圧倒的に多し
各志望大學調査まとまる

二学期も期末を迎え、就職試験は完つたものもあり、進学と就職は来春卒業する者にとつて深刻な様相を呈しているが、小山先生より資料を借り受け各志望大学調査票を括めて見た。来春の卒業者進路は次の通り。(下段は大学別進学希望者数)

	進学者数	就職者数	在籍
A	男 30 女 11	男 1 女 3	31 14
B	男 26 女 4	男 13 女 3	39 7
C	39	6	45
D	29	18	47
E	35	9	44
計	174	53	229

(12月3日現在)

東京水産大 一　日大 三
東京歯科 一　金沢工大 二
東京学芸大 三　弘前大 七
栄養士学校 一　中央大 八
女子美術大 一　法政大 三
宇都宮大 三　東京大 三
東京工大 二　東京薬科 二
早稲田大 八　明治大 八
看護学校 一　慶応大 五
東京都立大 一　東北大 十二
金沢工大 二　静岡大 一
東京女子大 一　駒沢大 一
神奈川大 一　金沢大 二
新潟大 三　北大 二
保安隊 二　立教大 二
福島大(芸大) 一　岩手大 二
〃(経済) 一　東京都大 二
秋田大(学芸) 五二
〃(鉱山) 十六
(十二月三日現在)

尚、進学者数と各志望校と一致しないのは未定者の関係である。

來年度修學旅行決まる

先年度の事務の手違によつてスムースに旅行をやれなかつたので、本年は早期に決定を試み、五案の計画表から生徒が投票を行つた結果、細案が括まつた。

この計画表によると四月四、五日二班に分れて関東関西に出発。コース大要は京都迄直行して、三日目奈良を見学後大阪に行き、大阪城、造幣局をまわつてこから船で神戸へ。夜行で名古屋に行き一泊、十国峠箱根をめぐつて強羅泊り、江の島、鎌倉を経て東京に着く。経費は四千八百円で関係会社は前年と同じ日本旅行社。

相沢教諭談=今回の旅行案は生徒の自主的投票によつて決定したのだから別に無理がないと思う。神戸を入れたのは重工業等大規模な物に触れさせる為である。

二學期を終るに當つて

学校長 加藤正一

人間にとつて永い間続けて来た生活様式、生活態度生活への心構えという様なものは、善きにしろ悪しきにしろ一朝一夕には改められぬものらしい。而も又それは個人として家庭環境に培はれるばかりでなく、能代を中心にした山本郡或はもつと広く県北・或は東北地方という様な地域性に依つても制約されていると考えてもいいであろう。

それ程根深く我々の身内に巣くつて居るものを一朝一夕に変え得る筈もなし、変えようとも私は思つていない。教育――人造りが百年の大計と言われる所以である。併しどんなに困難でもいけないものは直さなければならない。不合理なものは合理的に改められなければならない。その為には正しい判断力が養われなければならないし、それを敢てなす強い意志の力が必要となり、それを見栄よく遂行する審美眼、言い換えれば教養が必要である。

教育という仕事はその様な必要を満たし助ける為の役目を帯びたものであるが故に教師たる者はその役目に堪える丈の素養がなければならないし、足らない所は補充する様に絶えず努めなければならない。決められた月給は貰うが職務はほどほどにという様な調子で熱意も努力も親切もない唯世間体を飾るのみのぐうだらな教師なら、此の様な人間を教師と仰がなければならない生徒は気の毒というより外はない。

と同時に生徒は殊に義務教育でない高等学校の生徒は自ら進んで此等の要求を満す覚悟で入つて来た訳であるから、その日常の勉学(広義の)態度は貪欲でなければならない。そして誠実でなければならない。教師にまなび、社会に学び、自らの心に反省し判断し日に日に新たなる自己を展開して行かなければならない。徒らに周囲の而も悪い点のみを猿真似にまねて三年一日の如くぐうたらな生活態度を改めないならばどうして新日本の負荷に堪え得ようか。

以上述べたことは極めて抽象的であるが基本の問題だと私は信ずる。もつと別な観点からは既に就任の辞に述べておいた筈だから読み返して頂き度い。尚四月以来、月曜朝会その他折々に話したことでよくなつた部分はそれとして未だ不充分な部分を吟味して貰えば「三学期に望みたいこと」という編輯子の要望にほゞ答えたことになるかと思う。

第二回校内辯論大會

日時 十二月十七日
会場 本校講堂
演題 自由、時間七分
■申込み規定=入賞五位迄参加者全員に参加賞贈呈、学級対抗として各級二、三名参加、不足の時は個人対抗とする。
■申込締切=十二日 辯論部員まで――

在京能中同窓会生る

在京能中同窓会(能中――現能高前身)が生れ十一月十九日に発会式を挙げた。発起人は江井憲太郎、淡治千代治、山崎五郎、栗生沢実、加賀正司、佐々木満、金丸明、牛丸幸也、柳谷洋の諸氏。

原水爆禁止署名行わる

原水爆禁止署名運動が校内平塚、秋林、鈴木君等に企画されていた折から能代婦人会からの呼びかけがあつて去る六日全校生徒を対象に署名運動をしたが、七一四名(九六%)の署名を得て同運動県支部に送つてやつた。

本校生徒の……就職状況について

吉武榮司

一、就職希望者数

愈々就職戦線も激化して来たが本年度就職希望者数卒業見込数二三六名中八一名(男七一、女一〇 八月末日現在)が九月に入つてからの調査では五六名で、此中会社事務十四、官公庁十二でトップを占めている人数は此の様に未確定だが公務員受験者数六四名から大体六〇名位と見ている。市内五高校の就職生徒数は五五七名で、家事従事九四名の内本校は割約一を占めている。

二、本年度就職受験状況
(十一月二〇日現在)

秋銀推薦五第二次試験二 合格者なし
秋田相互推七試四 未決定
羽後銀行〃三〃二 〃
弘前相互〃三〃二合格二名
帝石推薦三名未決定
三菱金属推五試二 未決定
秋鉄推薦一 合格一名

〇青森銀行、秋田市本金は目下募集中である。尚試験の成績を他校に比すと優秀な成績の者もいて不合格者でも上位を占めているので悪いと言えぬが、思想、健康、家庭事情、特技等の点で競争の激烈さにおいて落伍する事も往々あるので、言動に注意し将来に悔を残さぬ様されたい。公務員受験者は全般的に見て約七百倍に率が達しているので、一般教養は勿論適性検査の準備には速度と確実さに万全を期して努力してほしい。

三、本年度試験問題の傾向

各社によつて夫々特異の傾向はあるが、作文、口答試問、社会時事問題等に共通して多く出る問題を見ると大体次の様である。

(イ) 法律道徳的問題
第一に憲法改正に就てどう考えるか、どんな点が問題になつているか等「自由と責任について」「戦後日本の世論と道義について」「私の理想主義、人生観等」「現代青年の覚悟」「日本再建と青年の使命」「私の尊敬する人物」等の問題が度々出題されているが、此の様なテストによつて受験者の思想、人物及び社会観を考察する。

(ロ) 国際問題、経済問題
「M・S・A」「日本為替レート」「ガット加入」「東南アジヤとの貿易」「現在のデフレーションに就て」等の日本の現実に直面している経済問題が多いが、一歩進んで中共との貿易はなすべきであるか、どのように、どの位、如何なるものをと深く思想問題と関連して難解なものもある。

(ハ) 其他
憲法改正と関連して再軍備問題が多く出るが、単に法律的なばかりでなく種々の面から突つ込まれる問題である。更に面接の際は当該事業所の業務内容、企業経営者、資本金の額、支店の所在地等質問されるから克く準備して行かねばならない。又本人に就いては健康、趣味特技、家庭状況、友人知人、希望する職種待遇等の諸点に就いて細かく質問されるが、応答には明快な態度を持つて接しなければならない。

以上尚説明の及ばない所もあるが、諸君は自己の能力適性を良く認識し、学校、父兄とその進路に就いては充分の考慮を以つて相談し、怖る事なく又悔る事なく脚下を見つめて邁進しなければならない。昨年同期と比べて就職状況は概して良いと言われないが、諸君の情熱と努力は良くこの難関を突破し、栄ある勝利を獲得するであろう。

一年部会開かる

一年部会と同時に開かれた二年部々会では、修学旅行と補習授業を議題に話し合つたが、前者は唯機会を他に求められる事はないのだからと言う要望があつて学校と生徒側に一任した。補習授業は学校側から一期の出席不振から顧みて中止案がだされたが、PTA側から強力に要望があつて続行する事になつた。

部告

当部は、今度編集会議において「読者の声」の欄を拡張することに決定し、又全校生徒が随意随時に投書出来る様に投書箱を職員室前に設ける事にしましたから、あなたの気ずいたこと、これは改良したい等々思つた人はふるつて投書下さい。用紙はどんなものでもかまいません(新聞部文化班)

三角点

▼これからすぐに学期末試験が始まるが、本校(特に一年生に多い)に見受けられるようだ)生徒はテストをするためにこの能高に入つているようなものだ。わざ〳〵授業料まで納めて。(見方によつてはこれもいいだろうが)

▼「テスト」の一語をきくとピタリと話し声が止み、目を光らせて先生の顔をのぞく。よい騒音防止だ。

▼だいたい試験というものは金田一京助著明解国語辞典のを借用してみると一問題を出して答案をつくらせ学業などの成績をみる事」とある。その最後の方の〃答案をつくらせ〃が〃答案を写つさせ〃、いわゆるカンニングというもの……

▼本校ではあまり見かけないようで結構なことであるこのカンニングは〃頭脳の働きが発達していて神経質な人〃がやるものだとある

▼これは自分は答が出来てもそれに自信がもてなくてついやつてしまうといつたいわば他人従順主義(こんな主義あるかな?)の典型的なあらわれで、大抵この答は合つているものだそうだ。

▼冬休みといつたところで三週間……。大学受験者には寒くて気の毒だが、真剣にやれば寒さなんかは吹つとぶ。その意気で大学の狭門をスルリと通り抜けるように。然し折角の休み……大いに気晴しした方が良かろう。

定評のある…
文房具の
安部商店
能代市畠町追分 デンワ53